

アジア経済の 潮流読み解く

県産経センターと
岐阜信金がセミナー

県産業経済振興センターと岐阜信用金庫は25日、海外セミナー「ネクスト・アジア」を岐阜市内のホテルで開いた。約90人が参加。アジア経済の現状やアジアの外国人材の活用などを学んだ。

亜細亜大都市創造学部の後藤康浩教授が「アジアの新しい産業潮流を読み解く」と題して講演。経済成長が著しい中国を取り上げ「中核部品を国産化し、自主開発による独自化を進める第3ステージに入っている」と指摘した。
今後需要の高まりが予想

アジア経済の現状について話す
後藤康浩教授＝岐阜市長良、岐
阜グランドホテル



される半導体については「2017年の中国の半導体自給率は13・4%だが、国家産業政策と民間が力を合わせることで、22年には自給率が40～50%になるかもしれない」と急激な成長を果たす可能性を示唆した。

ジェイエイシーリクルーメントの佐原賢治海外進出支援室長による講演もあった。